

「つらい時の祈り」

詩編 102 ヘブル 12:1~3

はじめに：メシアニック詩編の一つ

I. 惨めな状態の時の心の叫び (102:1~11)

- * 祈りと叫びから始まる
- * 個人の苦しみ、代表的な苦しみ (国の代表として)
- * 心の苦しみ → 身体の苦しみ

II. 「しかし、主よ。」・・・神の救いとその結果 (102:12~22)

- * 神に目を留める・・・神の主権 (102:12) エペソ 1:11
ヘブル 12:1~3
 - (1) イエスから目を離さない
 - (2) イエスが苦しみに打ち勝った方法
- * 今こそ神のあわれみの時 (102:13)
- * その結果 (102:15~22) シオン → 異邦人へ (ペンテコステ以来)
すべて神の栄光のため

III. 人間のはかなさと神の永遠性 (102:23~28)

- * 人も、目に見えるすべてのものも一時的である
- * キリストの永遠性によって、キリストにある者の現在も、未来も保証されている
ヘブル 1:10~12 は詩編 102:25~27 をキリストのこととして引用している

「イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも、同じです。」ヘブル 13:8

おわりに： 苦しい時に・・・神の主権、永遠性を思い出しながら、ローマ 8:28 と
ヤコブ 1:2~4 を黙想して、その約束にしっかり立つと大丈夫です！！

グループの分かち合いのため： (お一人ひとり 2~3分ずつまとめて分かち合いましょう)

- ① ひどい苦しみの時に神に叫んだら、神の答えの体験ありますか。分かち合いましょう。
- ② ヘブル 12:1~3 を読む。主イエスから目を離すとどんなところに目を留めるようになりますか。その結果は何ですか。(自分の今までの経験を考えて分かち合いましょう。)
- ③ ヤコブ 1:2~4 を読む。なぜ私たちは試練が必要だと一緒に考えて分かち合いましょう。